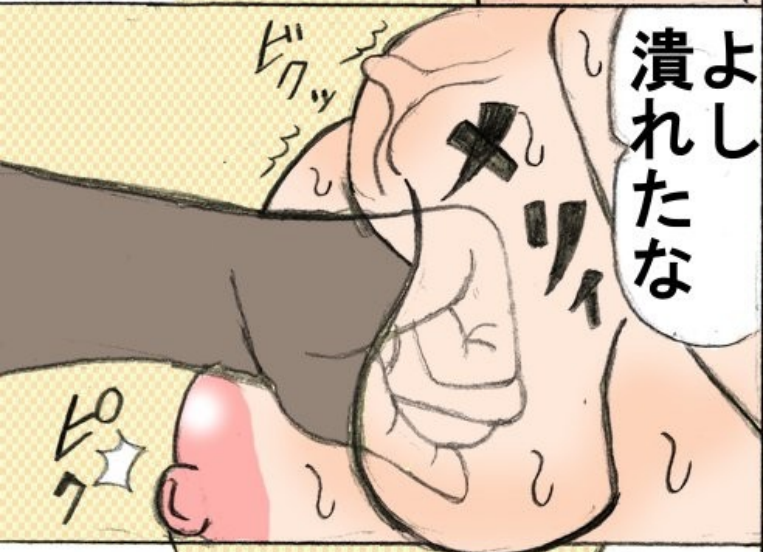




オラア



よし
潰れたな

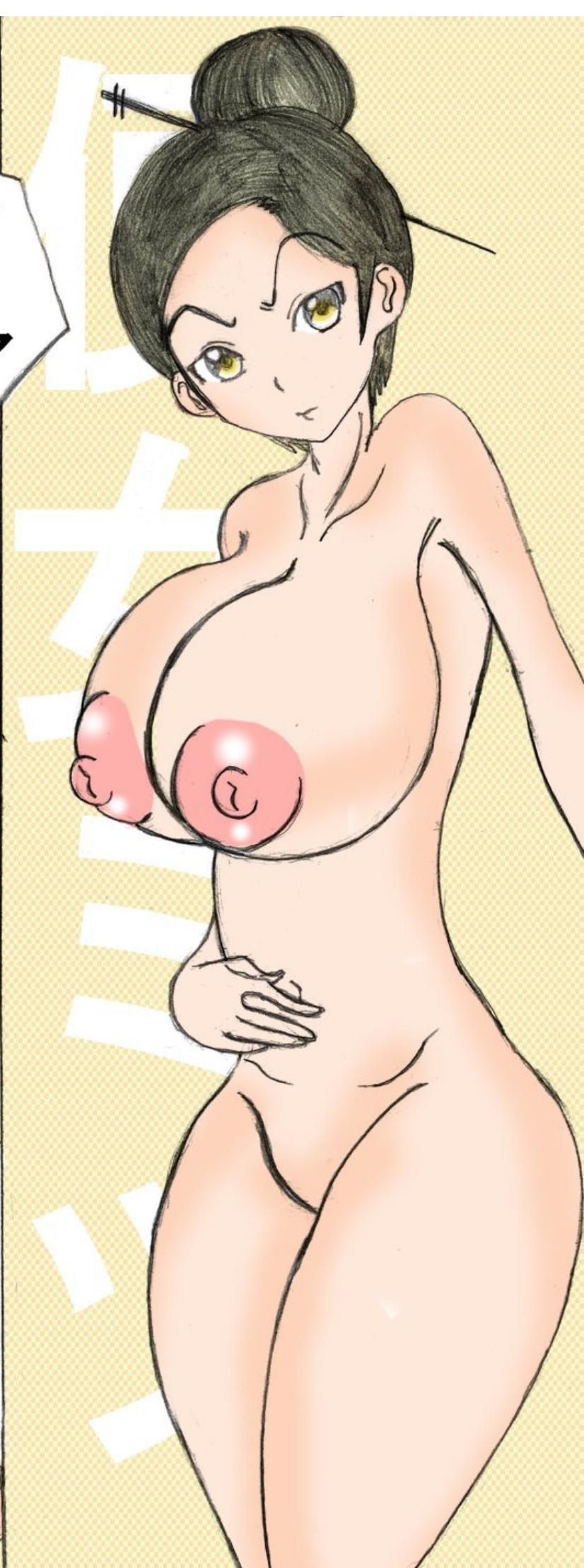


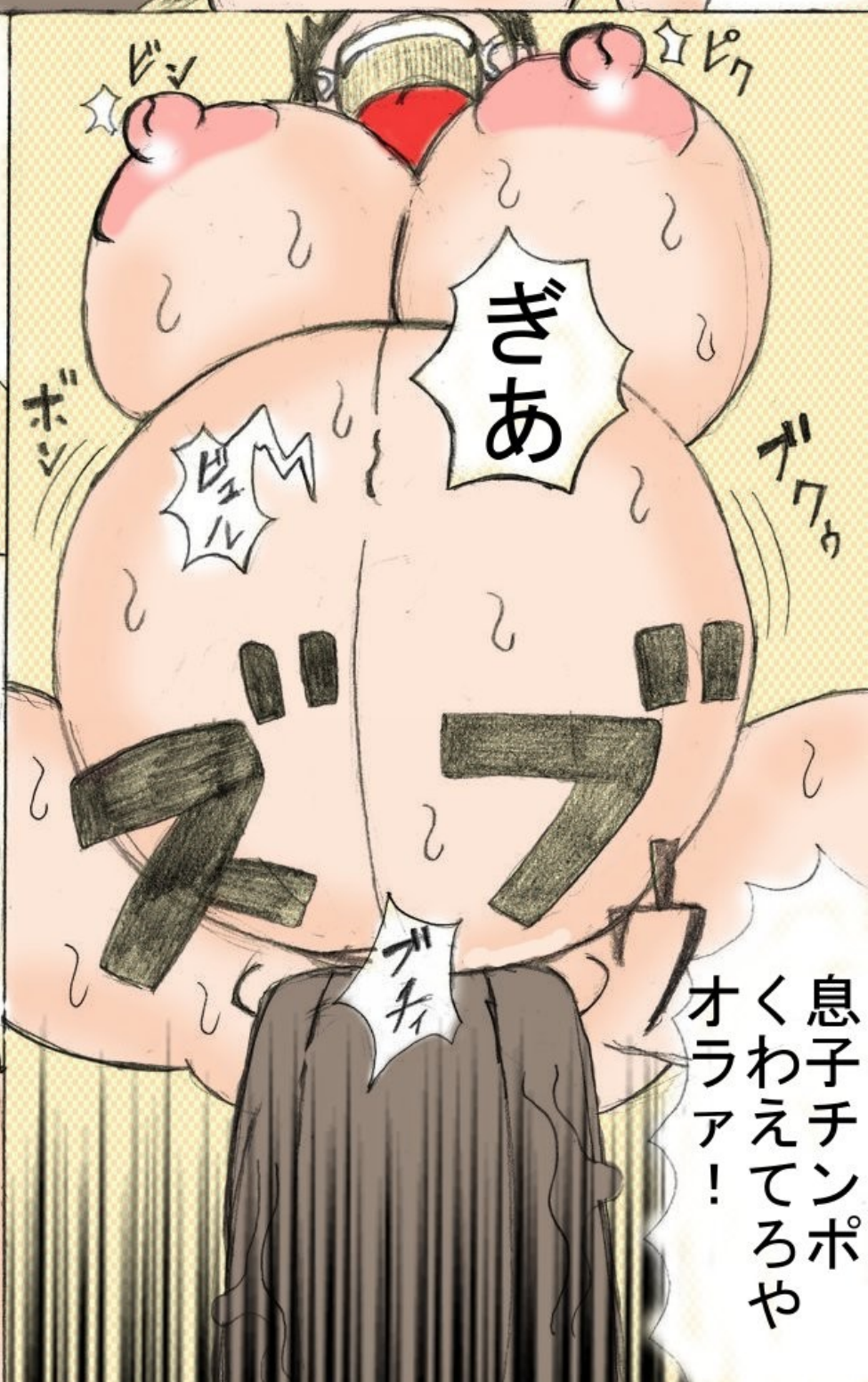
あがあああつ

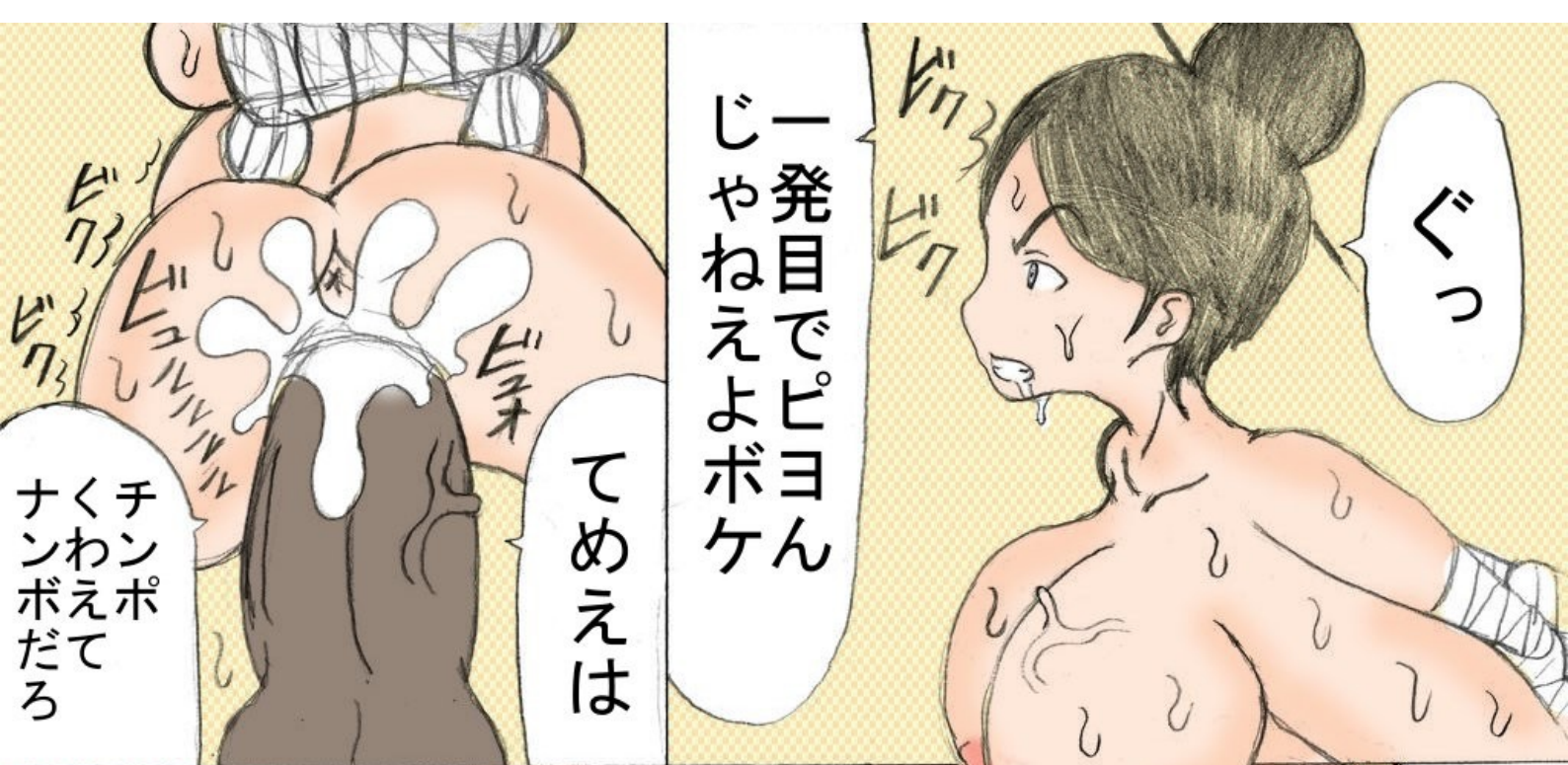


きやあああ
あああつ

オラ!
すぐ立て豚!





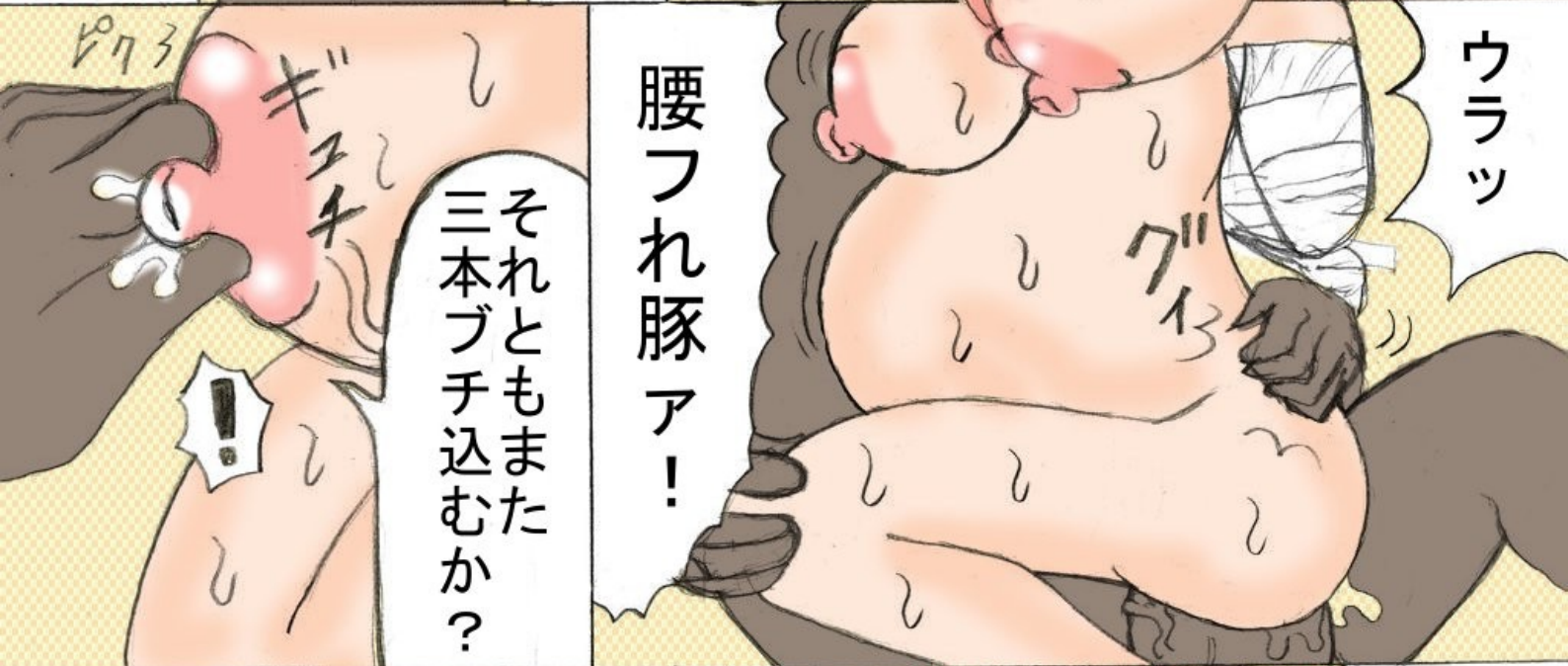


ぐっ

一発目でピヨん
じゃねえよボケ

てめえは

チンポ
くわえて
ナンボだろ



ウラッ

腰フレ豚ア!

それともまた
三本ブチ込むか?



ギョッ

!



おお! すっげえ
腰フリ!

やっぱり
三本刺しは
嫌か



ドブ

なら種汁きっちり
受け止めな!

おげえ！

木

ガルシッ

三

どぶ
の
み
ち

まだ
：が

こりやマンコ
終わったか？

おおお！
すっげえ！
音したぜ！

あ あ あ あ あ ぎ
あ あ あ あ あ や
あ あ あ あ あ あ

うるせえな

！

茜 朝

この豚女

うるせえな
この豚女

まったく少しは
色っぽく鳴けや

親としての
尊厳もなく

そこには母と
しての誇りも

オラ立て
豚ア！
ズキ
ゴボ
ドル...

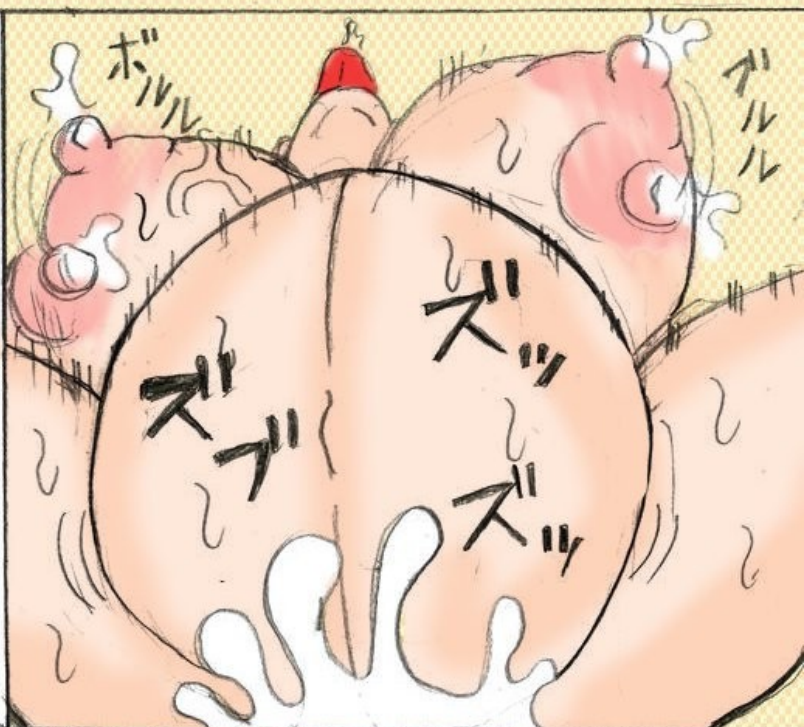
息子たちは
ただ淡々と肉穴と
化したミツを犯した

さっさと
立てや！

逃げることも
抗うことも
できたであろう

オラ孕め
豚アア！

しかしそれをしなかったのは
ひとえに特殊な体を持って
生まれてきた息子たちを
おもんばかったのことであり



皮肉にもその母と
しての想いが親子と
以上の関係を結ばせ

彼女を妊娠
させるに至る



だがミツに
後悔や迷いはない

乳パンパン
じゃねえか



おんな
母は黙って息子たちの
モノを迎え入れ続け
るのみである



こりや二匹目
はい
受精ったか？